

文教常任委員会資料

令和5年9月15日

(2023年)

教育委員会事務局学校教育課

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

標記の件について、次のとおり報告します。

令和5年度全国学力・学習状況調査（小学6年・中学3年）の結果について

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- (3) このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の内容

- (1) 調査実施日 令和5年4月18日（火）
- (2) 調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒
- (3) 調査内容
 - ア 教科に関する調査
 - ・小学校 国語、算数で実施
 - ・中学校 国語、数学、英語で実施

（主として「知識・技能」に関する問題と、主として「活用」に関する問題とを一体的に問う問題）
 - イ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査
- (4) 受検者数
 - ア 小学校 実施学校 18,672校 集計対象児童数 964,350人
 - イ 中学校 実施学校 9,408校 集計対象生徒数 893,528人

3 調査の活用

- (1) 各学校においては、調査結果を踏まえ、個々の児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、教育指導等の改善に向けて計画的に取り組んでいく。
- (2) 城陽市教育委員会においては、調査結果を踏まえ、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、市内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を推進する。

4 結果の概要

全国平均と比較すると、中学校の英語でやや下回ったが、それ以外の教科（小6生の国語と算数、中3生の国語と数学）は平均以上となった。特に、中学校数学は全国・京都府ともに上回る好結果となった。

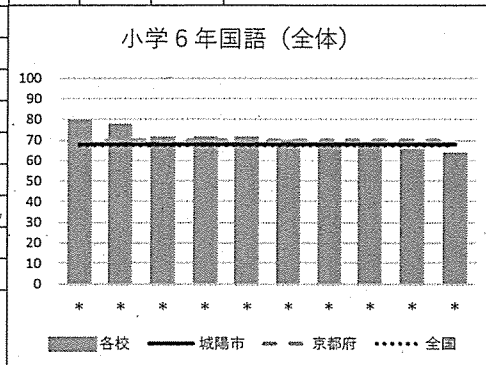
質問紙調査では、授業におけるタブレット使用率が小中学校とも全国・京都府を大きく上回り、ICT機器の効果的な活用が図られている。一方、家庭学習においては、計画性や学習時間に課題が見られ、改善が必要である。

5 小学6年国語の結果

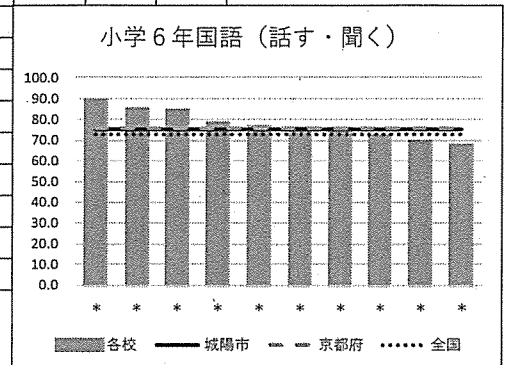
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや上回る結果となりました。領域については、「話す・聞く」については上回り、「書く」については下回っており、課題が見られました。
- ・国語科の授業では、互いの立場を尊重しながら意図を明確にして話し合い、自分の考えを広げたり、まとめたりすることが重要です。問題解決を通して得た知識や考え方をその単元の理解や活用だけに留まらず、全ての学習活動において「言葉による見方・考え方」を働かせることができるための授業改善を図ることが求められます。

(1) 結果の状況

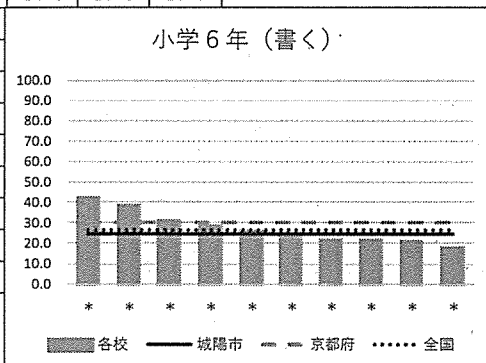
小学6年国語（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	77	68	70	67.2
*	75			
*	69			
*	69			
*	69			
*	67			
*	66			
*	65			
*	63			
*	61			



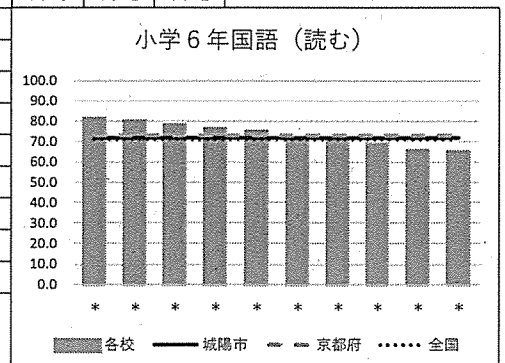
小学6年国語（話す・聞く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	87.4	75.4	76.2	72.6
*	83.3			
*	82.9			
*	76.3			
*	74.4			
*	74.1			
*	73.8			
*	70.5			
*	67.2			
*	65.4			



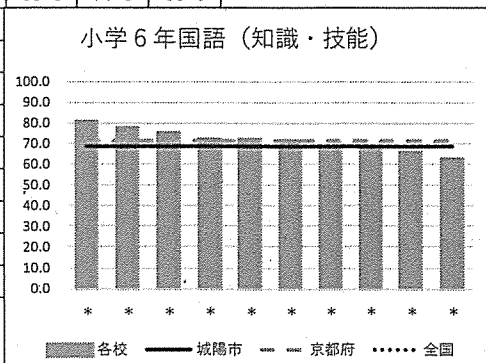
小学6年国語（書く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	40.0	24.6	29.9	26.7
*	36.4			
*	28.9			
*	26.6			
*	23.9			
*	22.7			
*	19.4			
*	19.4			
*	19.2			
*	16.1			



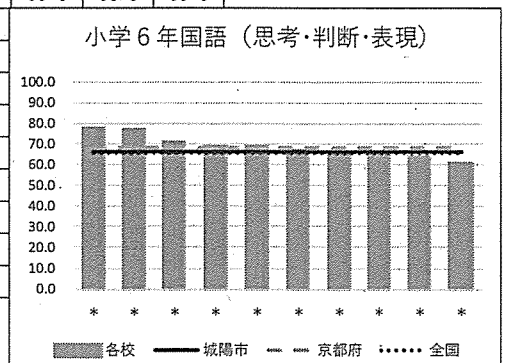
小学6年国語（読む）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	79.3	71.6	73.2	71.2
*	78.1			
*	76.2			
*	74.1			
*	73.1			
*	68.9			
*	68.8			
*	67.1			
*	63.7			
*	63.3			



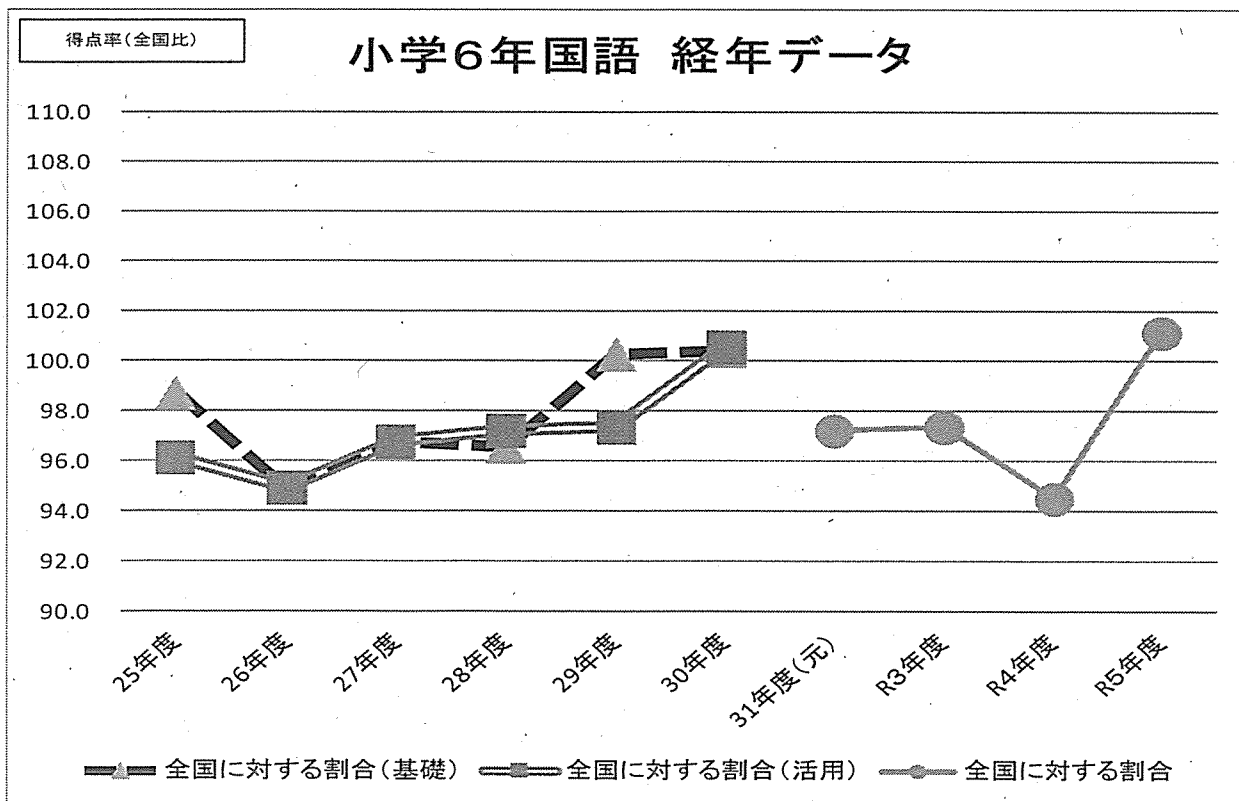
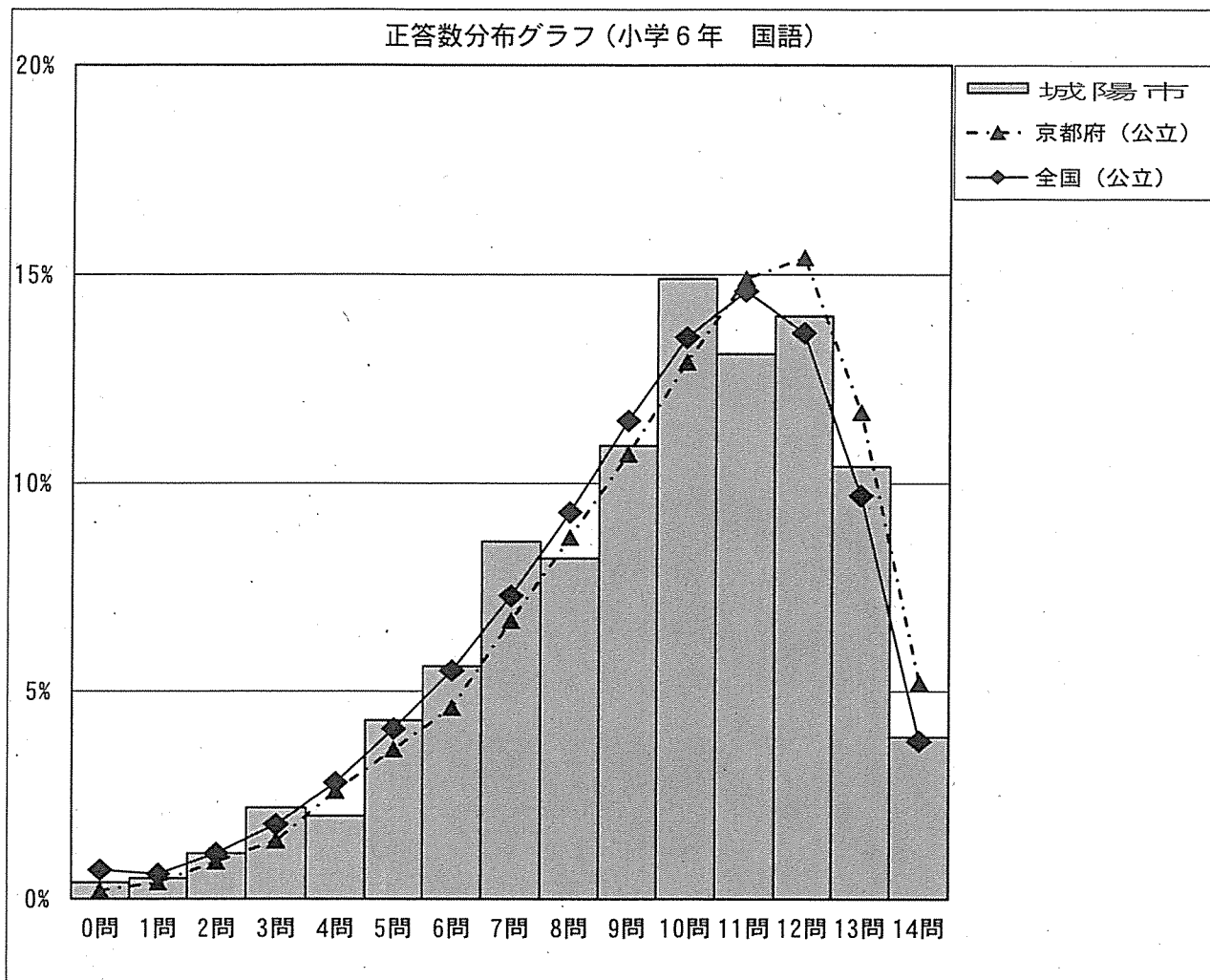
小学6年国語（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	79.0	68.8	71.5	68.9
*	75.5			
*	73.3			
*	70.0			
*	69.7			
*	69.2			
*	66.7			
*	66.4			
*	63.5			
*	60.7			



小学6年国語（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	75.6	66.5	68.3	65.5
*	74.7			
*	68.8			
*	67.1			
*	67.0			
*	64.9			
*	64.6			
*	64.5			
*	62.1			
*	58.8			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

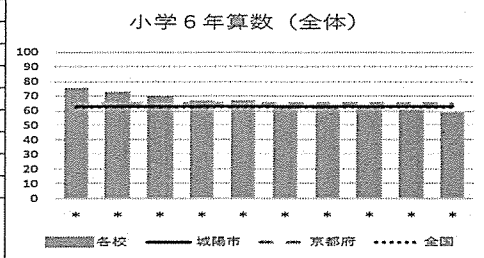


6 小学6年算数の結果

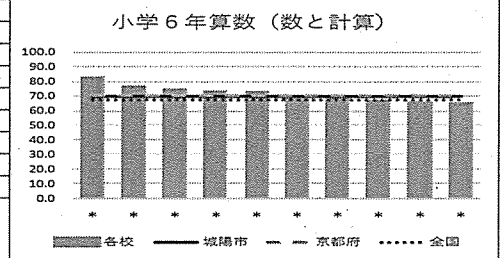
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや上回る結果となりました。領域については、「数と計算」と「知識・技能」で全国平均を上回りました。また、「変化と関係」、「データの活用」についてはやや下回っています。
- ・数学的活動を通して基礎的・基本的な概念や性質の理解をさせるとともに、日常の具体的な事象と対応させながら、表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉え考察することが重要です。図や式などを用いて考えを表現をする中で、図式化や説明の記述などの思考過程を大切に、「振り返り」を充実させ、数学的な考え方を育成していくことが求められます。

(1) 結果の状況

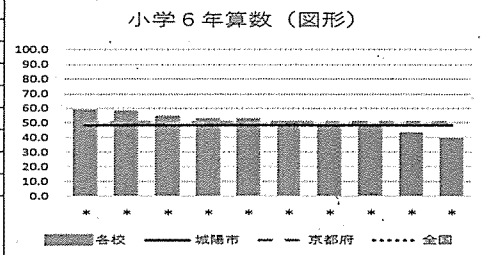
小学6年算数（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	73	63	65	62.5
*	70			
*	67			
*	64			
*	64			
*	61			
*	61			
*	59			
*	58			
*	56			



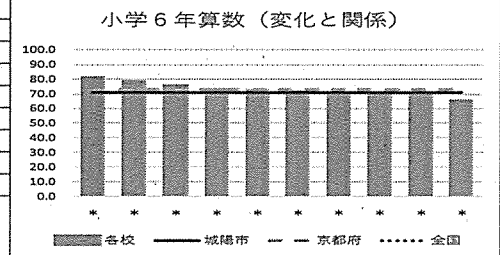
小学6年算数（数と計算）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	80.4	69.7	70.5	67.3
*	74.0			
*	72.4			
*	71.0			
*	70.1			
*	67.7			
*	66.4			
*	65.0			
*	63.4			
*	62.8			



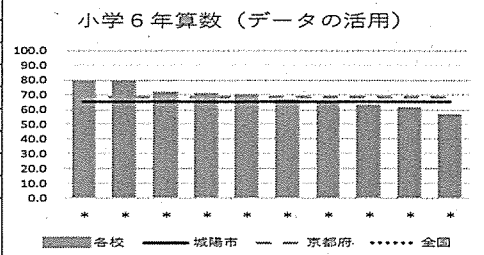
小学6年算数（図形）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	56.7	48.3	50.0	48.2
*	55.7			
*	51.9			
*	50.3			
*	50.0			
*	48.1			
*	46.2			
*	45.9			
*	40.7			
*	37.1			



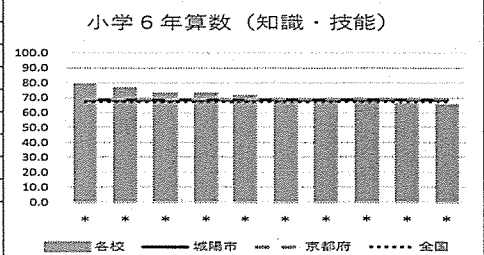
小学6年算数（変化と関係）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	78.9	70.7	73.0	70.9
*	76.4			
*	73.7			
*	70.9			
*	70.2			
*	69.9			
*	67.9			
*	67.5			
*	67.0			
*	63.7			



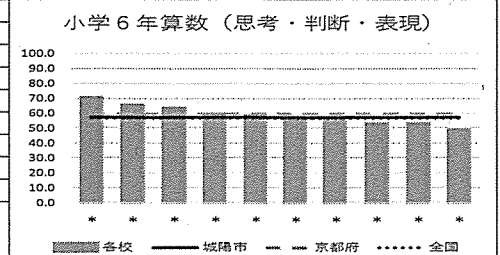
小学6年算数（データの活用）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	77.1	65.4	68.2	65.5
*	77.0			
*	68.9			
*	68.4			
*	67.7			
*	64.2			
*	61.3			
*	60.4			
*	59.0			
*	54.2			



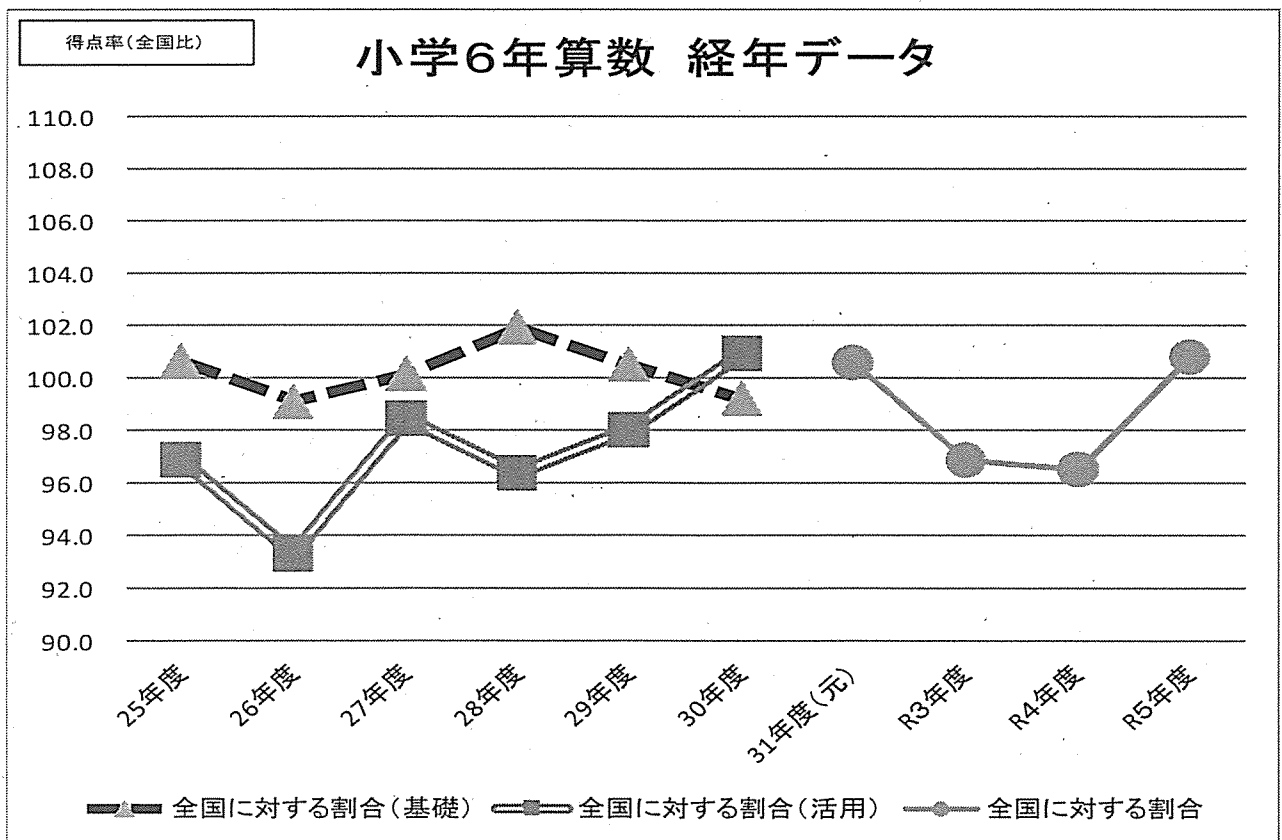
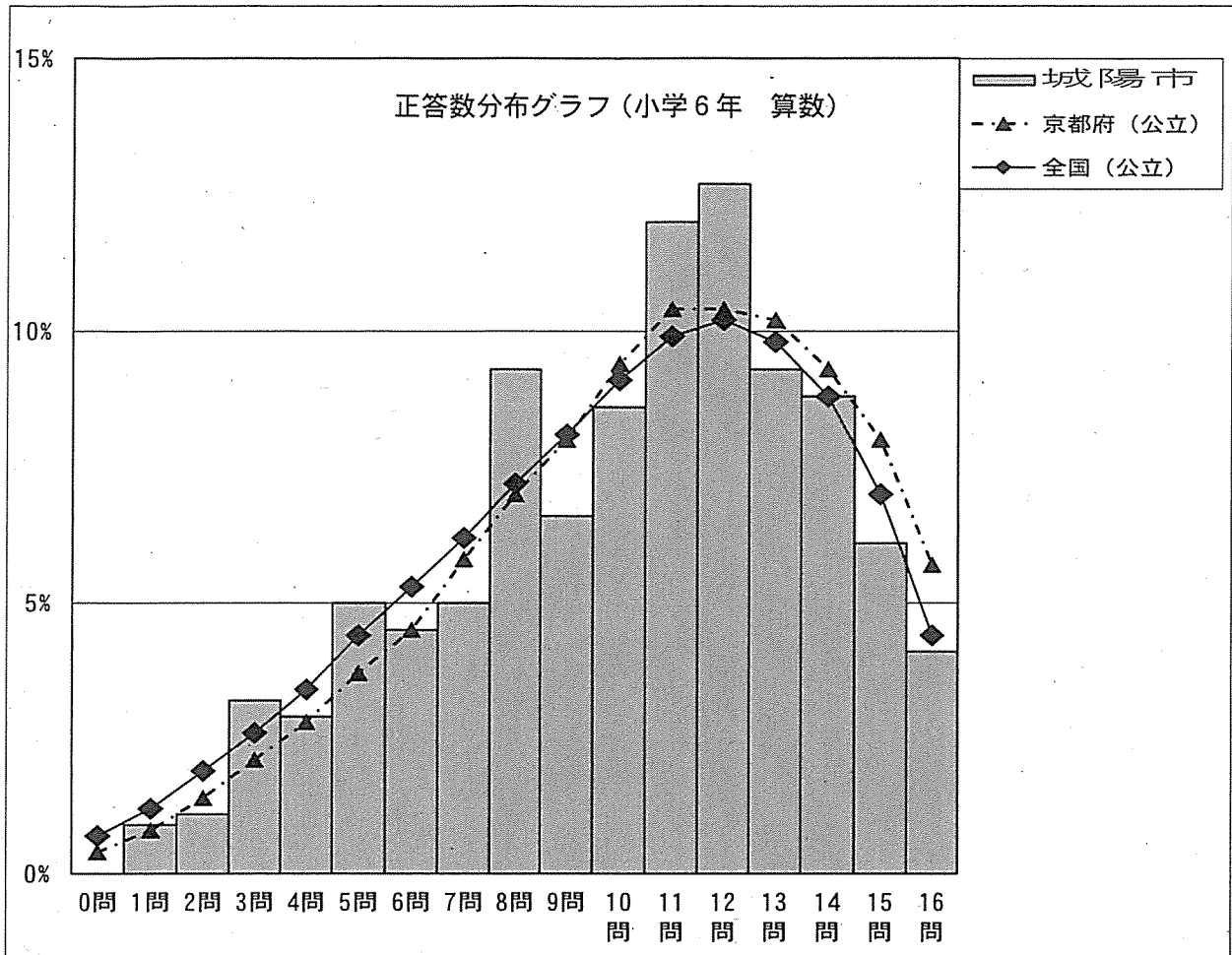
小学6年算数（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	76.8	68.6	69.4	67.2
*	74.3			
*	70.5			
*	70.5			
*	69.0			
*	67.0			
*	66.1			
*	65.4			
*	63.7			
*	63.1			



小学6年算数（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	68.6	57.0	59.8	56.5
*	63.7			
*	61.5			
*	57.8			
*	56.8			
*	54.5			
*	54.4			
*	51.1			
*	51.0			
*	47.0			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

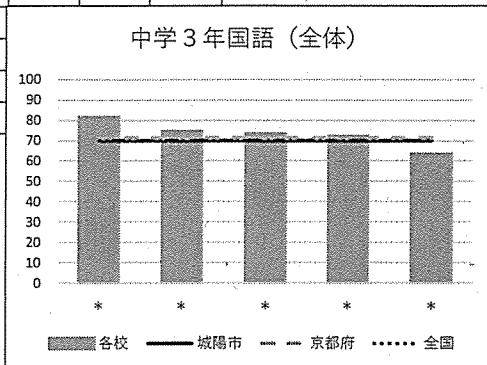


7 中学3年国語の結果

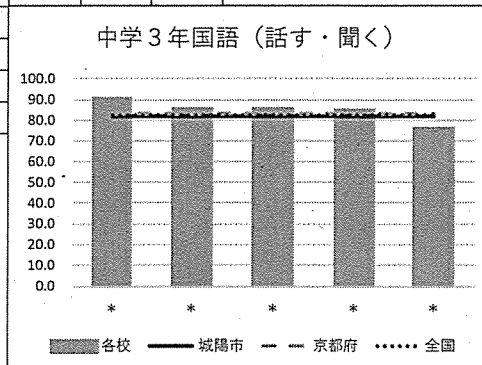
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや上回る結果となっています。また、領域については、「書く」、「読む」について全国平均を上回っておりますが、「知識・技能」については下回る結果となりました。
- ・経年の推移を見ると、小学4年から中学1年にかけては低位層が減少していましたが、中学1年から中学3年にかけては、中間層が減少し、低位層も高位層も増える結果となりました。
- ・常用漢字や慣用句、敬語の定着を図るとともに、文章の内容や構造を理解して必要な情報を取り出し、既有的知識や様々な経験と結びつけて、生徒一人一人の考えを広げることが求められます。

(1) 結果の状況

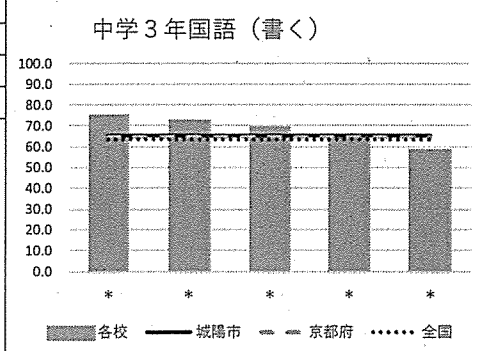
中学3年国語（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	78	70	71	69.8
*	71			
*	70			
*	69			
*	60			



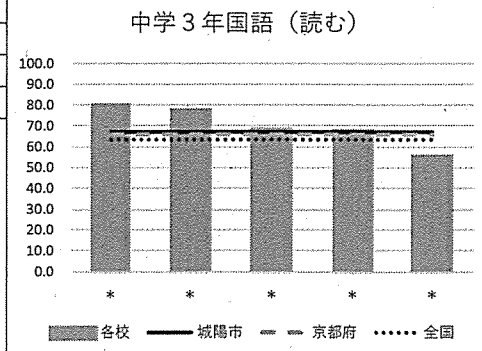
中学3年国語（話す・聞く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	87.3	82.1	83.1	82.2
*	82.7			
*	82.5			
*	82.1			
*	72.5			



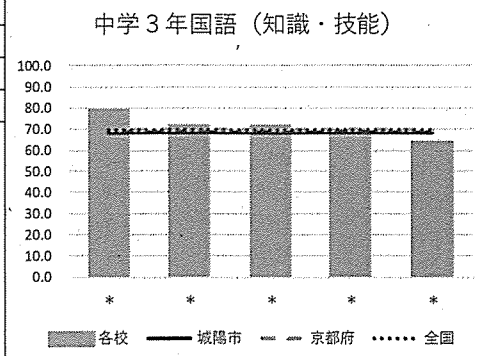
中学3年国語（書く）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	71.2	65.5	65.0	63.2
*	69.3			
*	66.1			
*	61.0			
*	54.9			



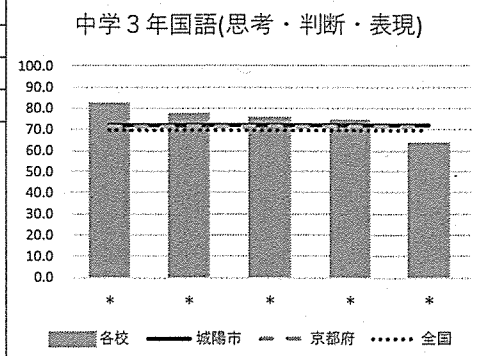
中学3年国語（読む）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	77.0	67.4	65.8	63.7
*	74.4			
*	65.4			
*	65.0			
*	52.5			



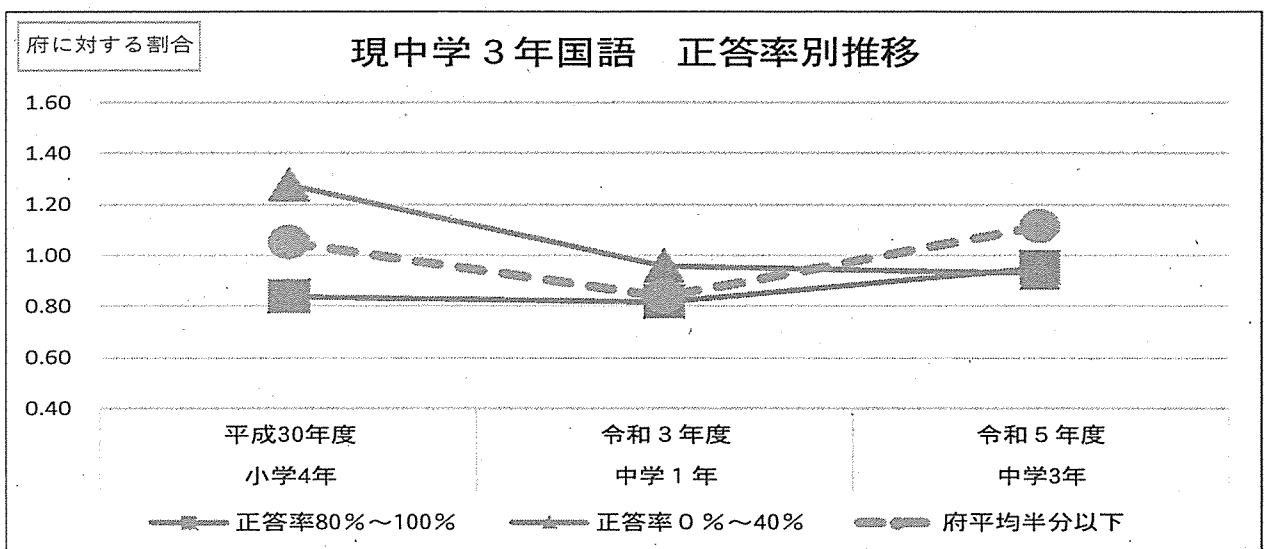
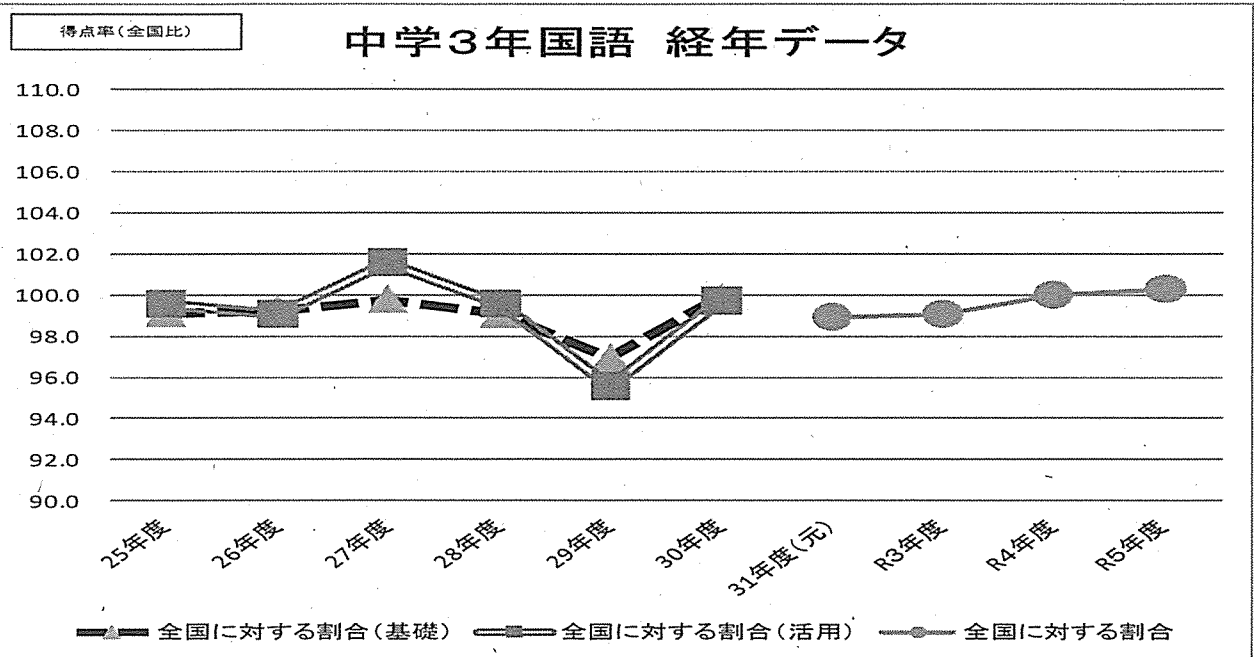
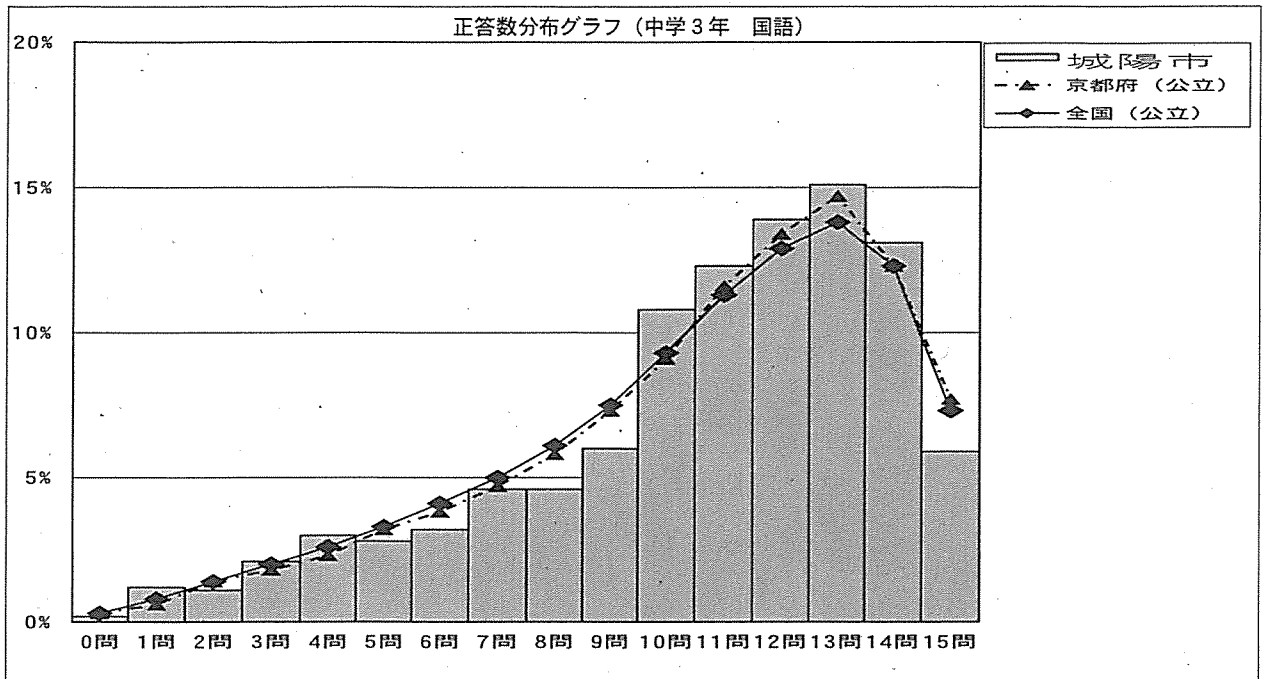
中学3年国語（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	75.6	68.4	69.5	69.4
*	68.5			
*	68.5			
*	66.3			
*	60.3			



中学3年国語（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	79.1	71.8	71.4	69.7
*	74.0			
*	71.9			
*	71.1			
*	59.7			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

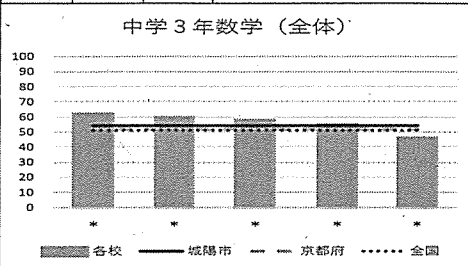


8 中学3年数学の結果

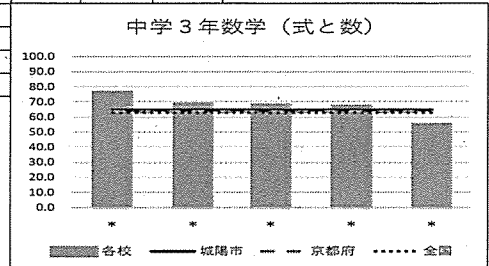
- ・城陽市の平均は、全国平均を上回る結果となりました。また、領域については、特に「データの活用」は、大きく上回りました。
- ・小学4年から中学1年、さらに中学3年にかけて、徐々に高位層が増加しました。低位層については、小学6年から中学1年にかけて減少しました。
- ・今後も、数学的活動を通して、基礎的・基本的な概念や法則などを理解させるとともに、生徒一人一人が、問題解決の方法を数学的に説明したり、総合的・発展的に考察したりするなど、「数学的な見方・考え方を働かせた言語活動の充実」が大切です。

(1) 結果の状況

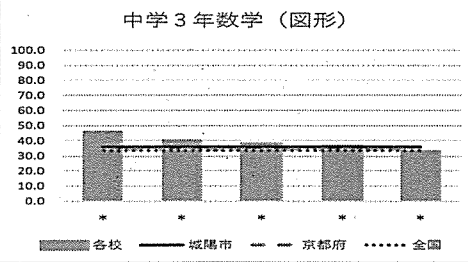
中学3年数学（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	59	54	52	51.0
*	57			
*	55			
*	52			
*	43			



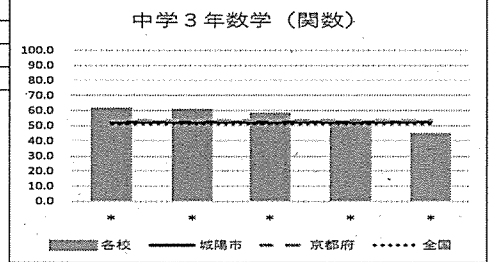
中学3年数学（式と数）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	73.1	64.9	63.7	63.0
*	65.9			
*	65.4			
*	64.3			
*	52.1			



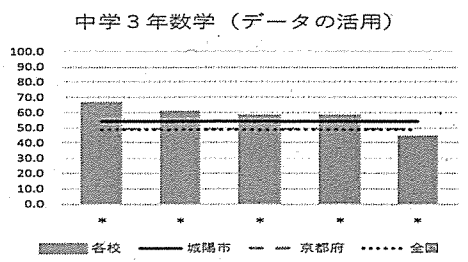
中学3年数学（図形）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	42.4	35.9	34.0	33.2
*	37.4			
*	34.8			
*	33.6			
*	29.7			



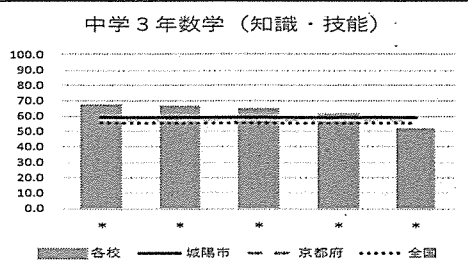
中学3年数学（関数）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	57.9	52.5	53.4	51.2
*	57.6			
*	54.8			
*	49.4			
*	41.5			



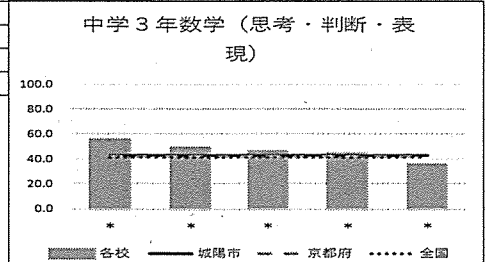
中学3年数学（データの活用）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	62.6	54.2	49.5	48.5
*	57.6			
*	54.7			
*	54.7			
*	41.0			



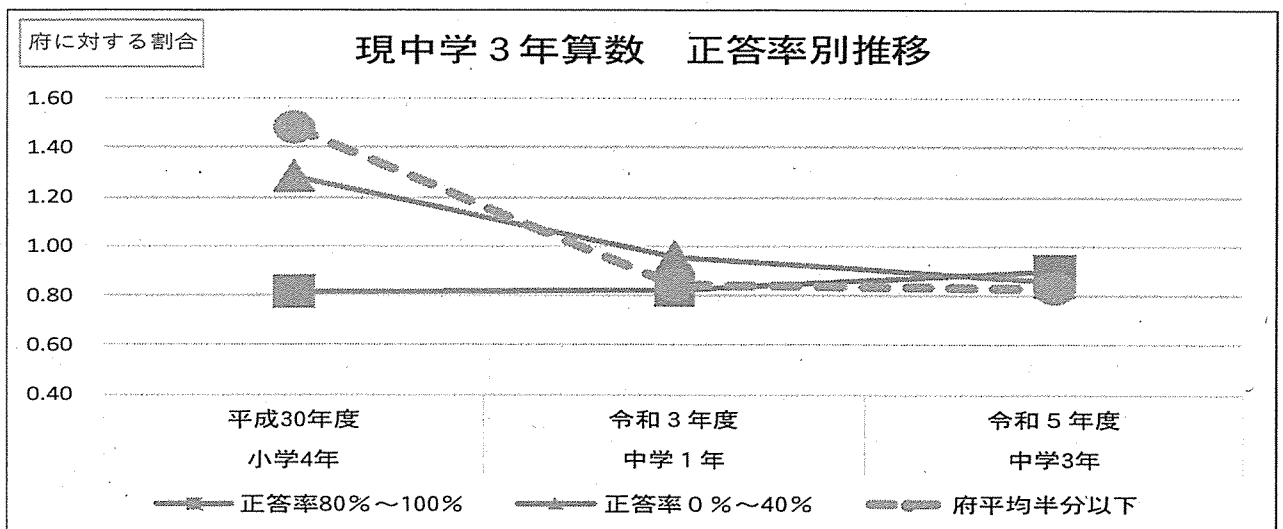
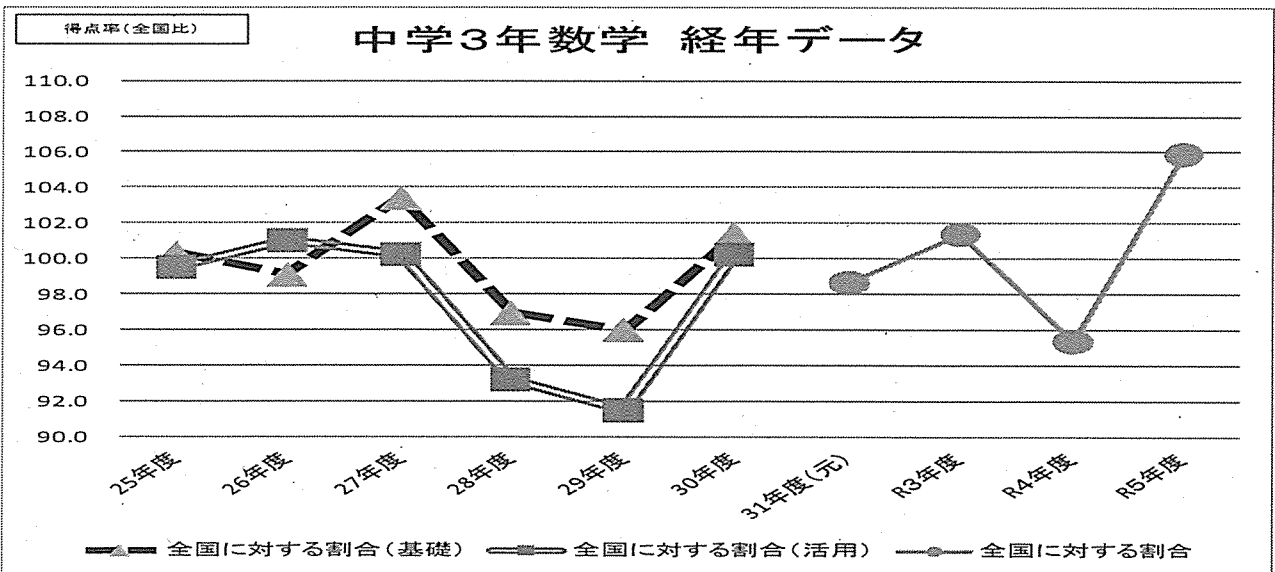
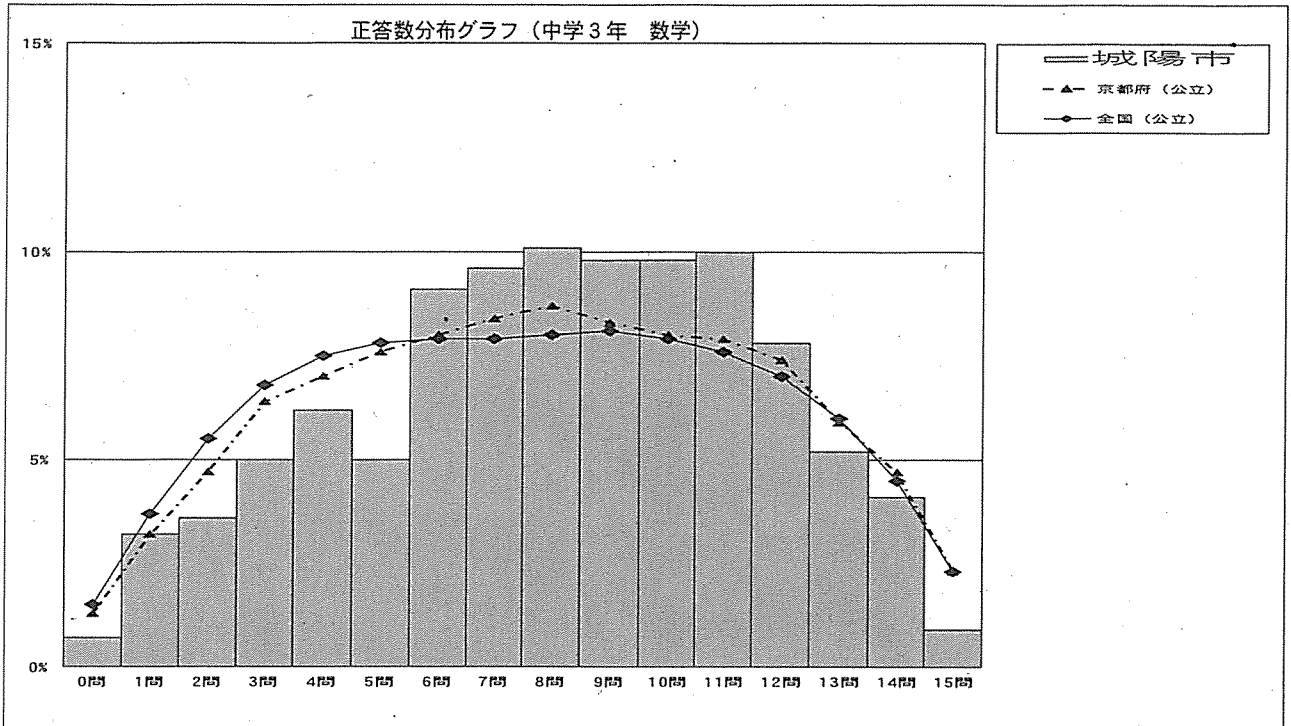
中学3年数学（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	63.7	59.1	57.2	55.7
*	62.7			
*	61.1			
*	58.2			
*	48.0			



中学3年数学（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	51.9	42.9	42.2	41.6
*	44.9			
*	42.5			
*	40.3			
*	31.6			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

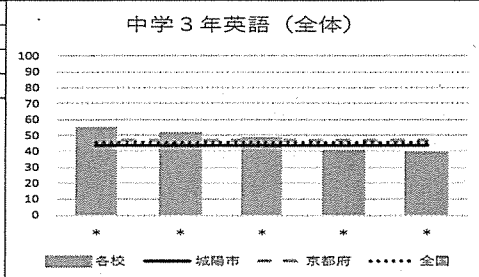


9 中学3年英語の結果

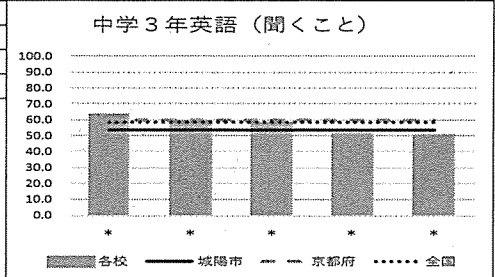
- ・城陽市の平均は、全国平均をやや下回る結果となりました。また、領域については、特に「聞くこと」について全国平均を下回り、課題が見られました。
- ・外国語の音声や語彙、表現、文法等の言語の働きを理解させるとともに、英語で情報を聞き取ったり、話したりする活動を充実させ、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが求められます。

(1) 結果の状況

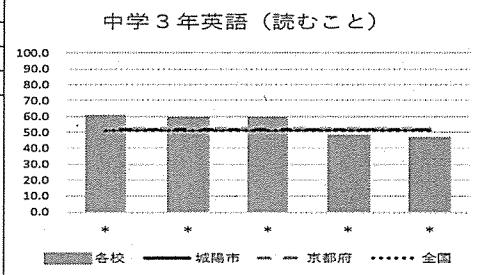
中学3年英語（全体）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	51	44	47	45.6
*	48			
*	45			
*	37			
*	36			



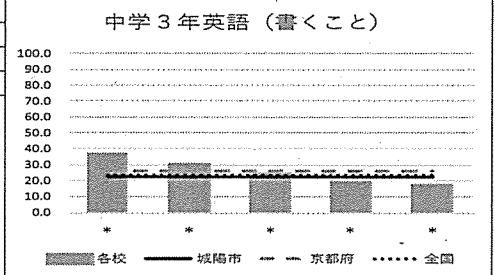
中学3年英語（聞くこと）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	59.8	53.6	59.9	58.4
*	56.1			
*	55.0			
*	48.1			
*	46.9			



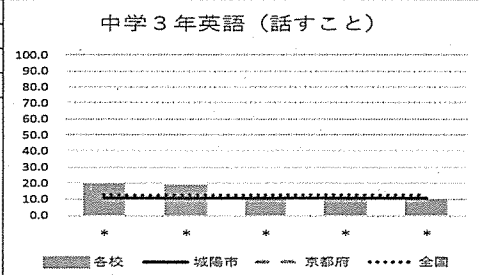
中学3年英語（読むこと）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	57.3	51.7	52.7	51.2
*	56.0			
*	55.9			
*	44.3			
*	43.0			



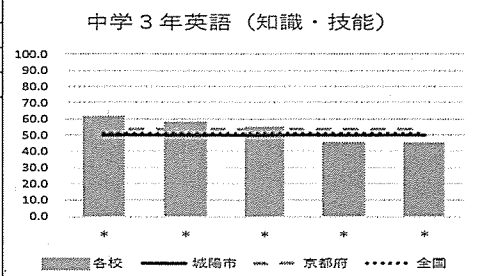
中学3年英語（書くこと）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	33.4	22.6	25.9	23.4
*	27.1			
*	21.0			
*	15.6			
*	13.7			



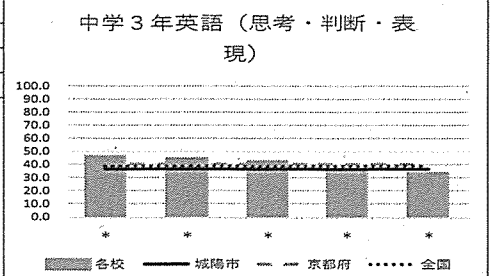
中学3年英語（話すこと）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	16.0	11.0	12.4	
*	15.0			
*	8.0			
*	7.0			
*	6.0			



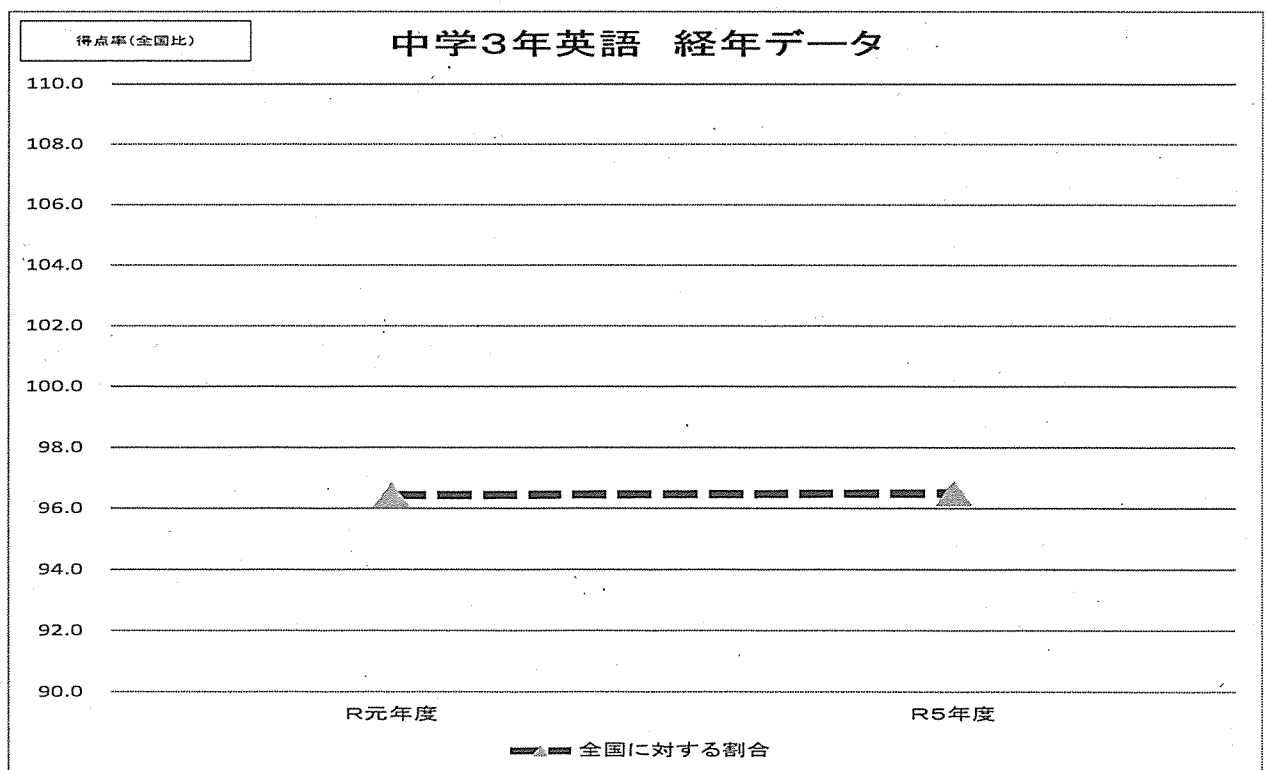
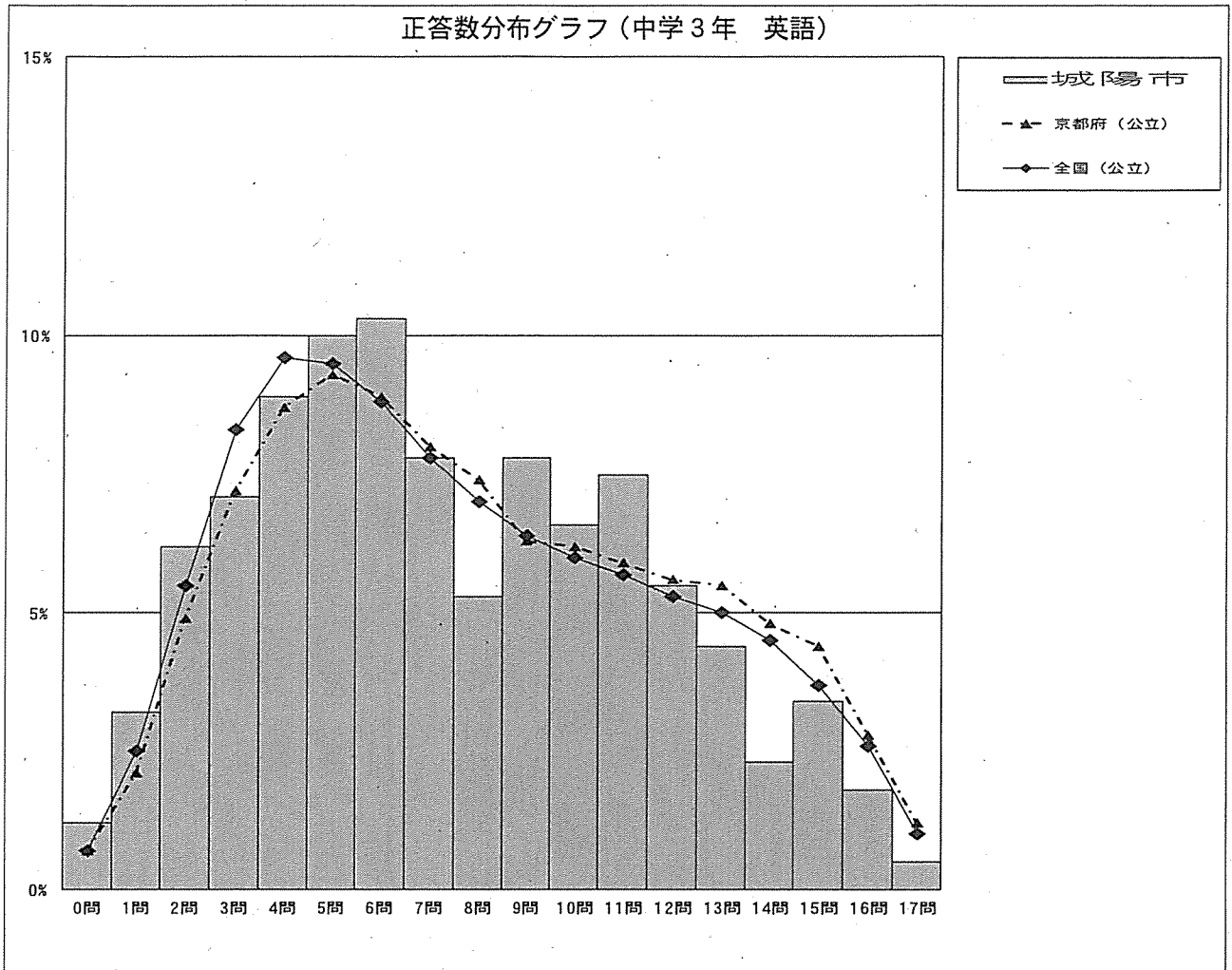
中学3年英語（知識・技能）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	58.1	49.9	53.6	51.5
*	54.5			
*	51.3			
*	41.8			
*	41.4			



中学3年英語（思考・判断・表現）				
学校名	各校	城陽市	京都府	全国
*	42.4	37.0	40.4	38.8
*	40.7			
*	38.6			
*	31.3			
*	30.2			



(2) 正答数分布グラフ・経年データ・正答率別推移

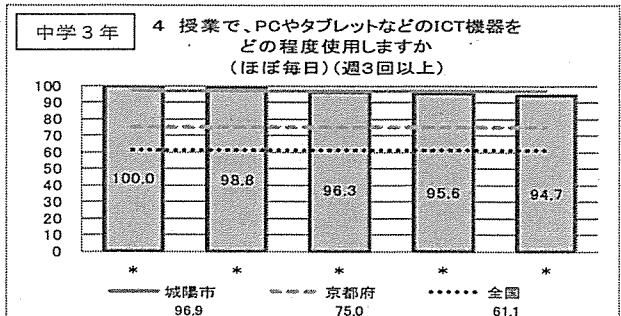
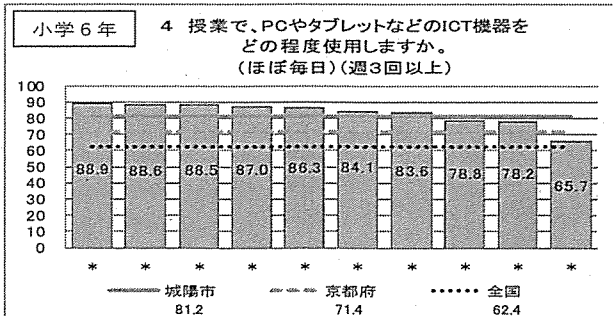
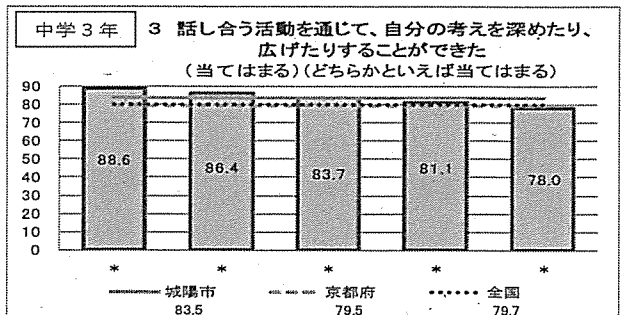
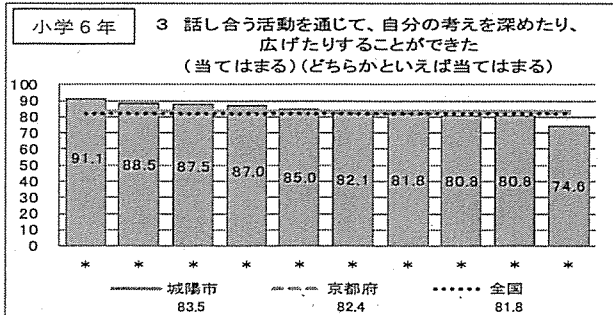
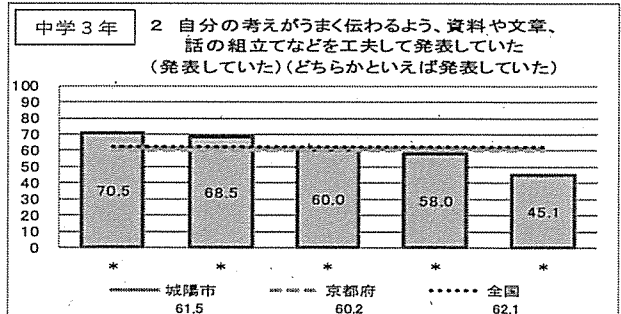
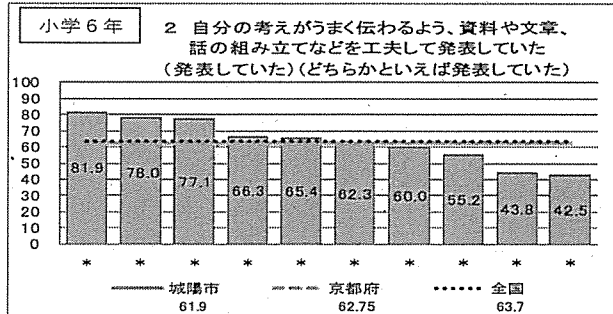
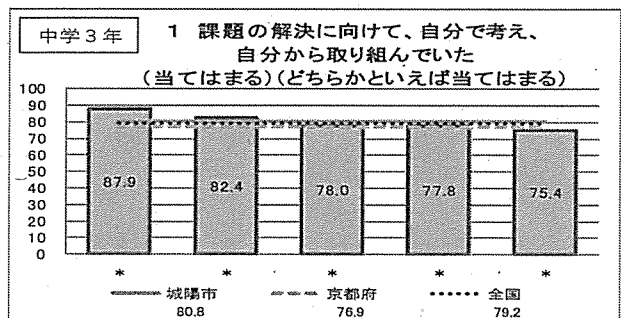
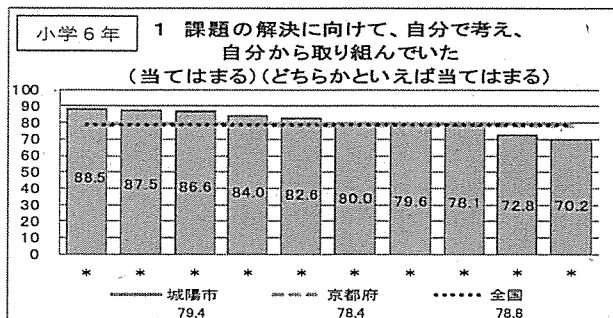


1.0 質問紙の調査結果（小学6年・中学3年）

(1) 授業について

・城陽市の平均を全国平均と比較すると、「1」と「3」の項目では、ともに上回り、課題に対して積極的に取り組み、「学び合い」や「話し合い」の活動を通じて、考えを広げることができています。一方で、「2」の項目では、小学6年と中学3年ともに下回る結果となり、話す内容を工夫して発表することにはやや課題がある状況です。また、「4」の項目にもあるように、タブレットの使用率が大きく上回っており、授業で効果的なICT機器の活用を積極的に進めてきた結果が現れています。

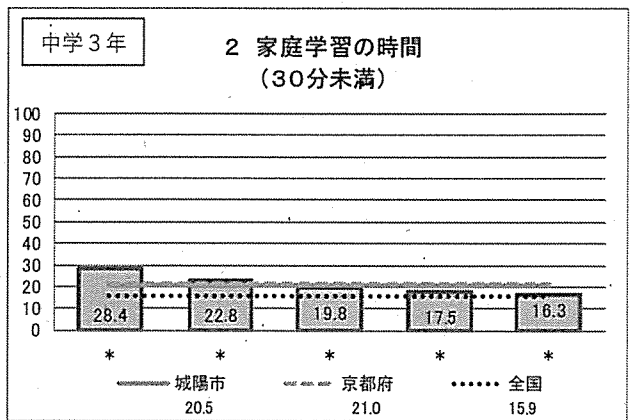
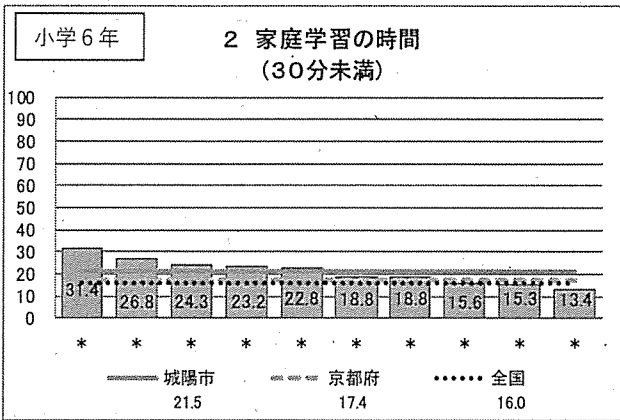
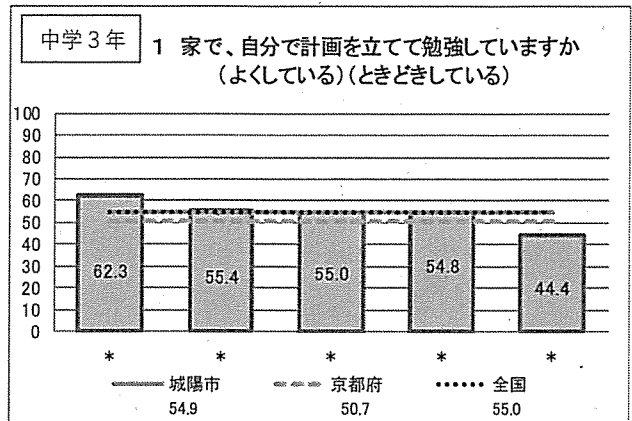
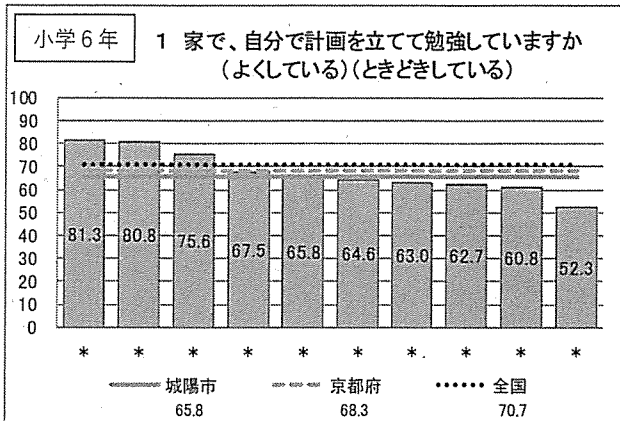
・「認知能力」と「非認知能力」を一体的に育み、「学び合い」や「振り返り」を充実させ、子ども自身が学びを実感し、自分で考え、自から取り組む態度の育成を図ることが大切です。



(2) 家庭学習について

・子ども達が家庭でも計画的に学習できるよう、学習習慣を身に付けさせると同時に、学びに向かう力を育成することが求められます。また、各校で作成している「家庭学習の手引き」等を子ども達自身が有効活用できるよう、手立てを講じる必要があります。

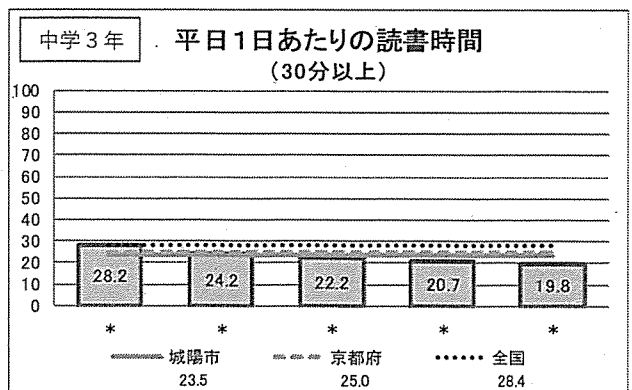
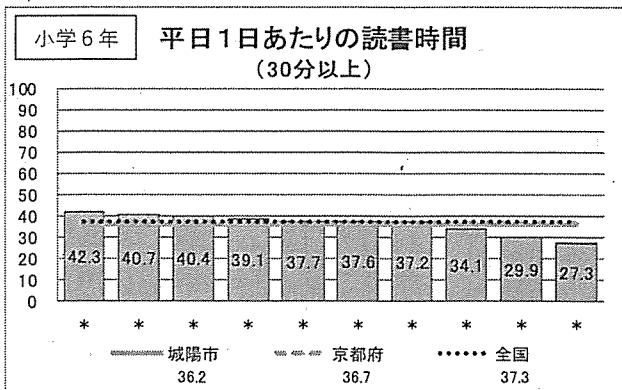
・家庭学習の時間が「30分未満」と回答した割合は、小学6年、中学3年ともに全国平均より高い割合となっており、家庭学習の習慣や時間の充実が求められます。



(3) 読書習慣等について

・小学6年、中学3年ともに、平日1日あたりの読書時間が「30分以上」と回答した割合は、全国平均を下回る結果となりました。また、小学校では、本に親しませる取組を充実させているところですが、学校間の差が大きいことが課題となっています。

・読書週間の取組など図書館教育の充実及び学校図書館司書の活用やボランティアの支援を得て、より多くの本に触れさせる機会を計画的に設けることが求められます。



(4) 生活習慣等について

- ・朝食を毎日食べていると回答した割合は、全国平均と比較すると、小学6年では、下回る結果となり、中学3年では同程度となりました。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている、または、どちらかといえば寝ていると回答した割合は、全国平均と比較すると、小学6年、中学3年ともに下回る結果となりました。
- ・学力の向上においても基本的な生活習慣は大切です。今後も子ども達が基本的な生活習慣を確立できるよう指導するとともに、それぞれの家庭と連携を密に図ることが求められます。

